

文化財通信

その170

「指定文化財紹介 国指定史跡 伝堀越御所跡」

でんほりごえごしよあと

文化財課 ☎055-948-1428

今から約700年前の室町時代、市内に室町幕府の出先機関である「堀越御所」が置かれていました。堀越御所は、長祿2年(1458)に足利政知が葦山に拠点を構えたことで成立します。政知は、室町幕府に対して抵抗している古河公方足利氏の鎮圧を目的に京都より派遣され鎌倉を目指しましたが、古河公方の抵抗にあり、鎌倉に入らず伊豆の堀越(現・四日町)に本拠地を置き、力を蓄えることにしたのです。その結果、政知は「堀越公方」と呼ばれるようになり、ここに堀越御所が誕生します。

政知の死後、混乱に乗じて



伝堀越御所跡出土池跡
御所之内遺跡第5次調査

息子の足利茶々丸が跡を継ぎますが、伊豆に進出した北条早雲によって明応3年(1493)に堀越御所は攻め滅ぼされ、約30年間の短い活動期間に幕を閉じます。現在、この堀越御所があったとされる場所は「伝堀越御所跡」として国の史跡に指定されており、周辺には堀越御所に関する地名と思われる「御所之内」、「築山」などの地名が残っています。過去の発掘調査では、遺水(導水施設)を伴う大規模な池跡や土壘墓(竪穴を掘った墓)や井戸跡、区画溝が見つかっています。また、出土する土器も京都の影響を強く受けているも

のが多く見つかったことから、この地に京風の文化を持った拠点があつたことをうかがわれます。しかし、過去の発掘調査では、政知や茶々丸の暮らしていた「居館跡」と呼べるような施設は見つかっておらず、そのためこの史跡の名前は「伝堀越御所跡」となっているのです。今後、調査や研究を進め、在りし日の堀越御所の姿を解明していきます。



上空から見た伝堀越御所跡 (東側から)

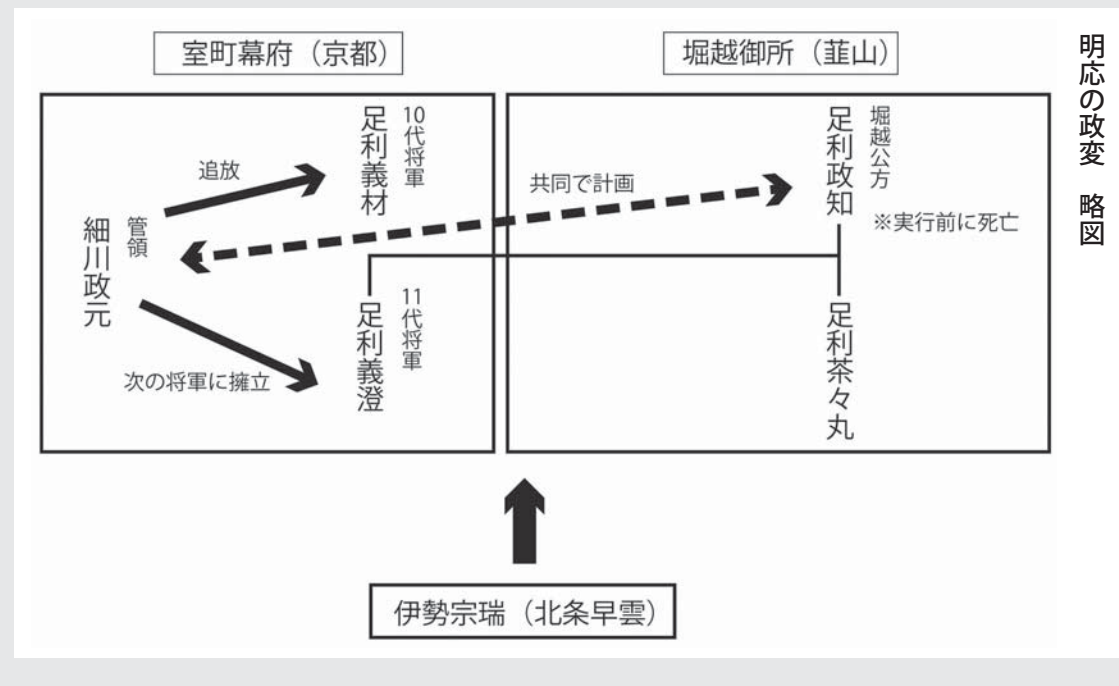
早雲と葦山城④

【勃発!! 明応の政変!!】

伊勢宗瑞(北条早雲)が興国寺城を拠点に今川氏に助力するようになった数年後の明応2年(1493)4月、室町幕府内でクーデターが発生します。管領(大臣)である細川政元が10代目将軍の足利義材を追放し、その甥である足利義澄を将軍に擁立したのです。これが世にいう「明応の政変」です。

この計画は、伊豆の堀越御所を拠点としていた堀越公方足利政知が早い段階から関わっていたと考えられています。このクーデターで、足利義澄は11代目将軍になったのですが、実行を目前に政知が亡くなったことで、その後、多くの予想外の出来事が発生します。ここで、京都と東国の政治情勢を熟知した宗瑞が登場して来

(広報9月号に続く)



500年のときを越えて今、よみがえる— 北条早雲公没後500年祭 開催決定!

乞うご期待!!

とき/11月1日(金)、2日(土)

ところ/葦山城跡、葦山時代劇場、江川邸、城池親水公園など

内容/早雲歴史ウォーク、大塚良重・立川志らへの共演、稚児行列、法要、シンポジウムなど

イベントを盛り上げるボランティアを大募集!!

募集内容/駐車場係、葦山時代劇場ホール保安係、稚児の準備・世話係、会場準備係

申込方法/氏名、住所、電話番号、性別、年齢、希望する係を明記して、電話、郵便、FAXのいずれかで申し込みください。

☎ 北条早雲公没後500年祭実行委員会事務局(市役所文化財課内)

〒410-2292 伊豆の国市長岡 346-1

☎ 055-948-1428 FAX 055-948-2926

